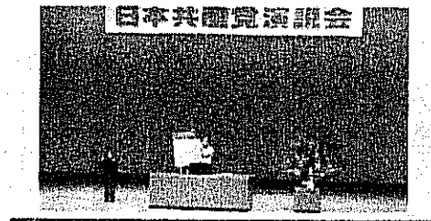
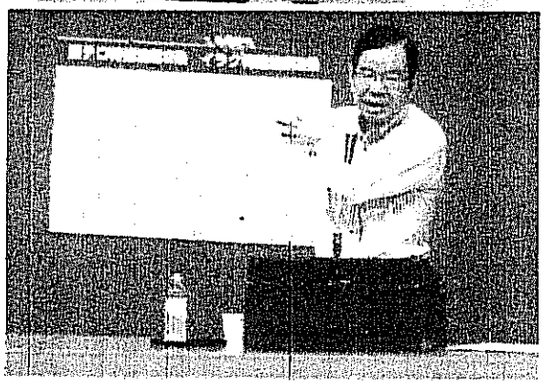
歴史的暴挙に空前の国民的反撃を

志位和夫委員長松戸で訴え





パネルを手に、自衛隊も憲法九条で守られていたと語る志位委員長

6月28日午後、松戸市の「森のホール21」で志位和夫委員長を迎え日本共産党演説会が行われました。

7月1日に予想される「集団的自衛権の行使」を可能にする閣議決定を目前にしたこの日、会場につめかけた1500人の聴衆に、志位氏は次のように訴えました。

日本に対する武力攻撃がなくても「国民の権利が根底から覆される明白な危険」があるときには集団的自衛権の行使をするという内容になっている。これが『限定』というが、『明白な危険』かどうか判断するのは誰か。政府の判断でいくらでも広がるということです。

さらにその情報を明らかにしなさいと国民が求めたら秘密保護法で『それは特定秘密です』となり、国民にも国会にも真相は知らされない。これは憲法違反です。

集団自衛権は行使できないとする憲法解釈は半世紀にわたる国会論議で定着・確定してきた。この憲法解釈を180度ひっくり返し、海外で戦争する国への大転換は断じて許せません。

この戦いの帰趨を最後に決めるのは国民の世論と運動です。歴史的暴挙に空前の国民的反撃を持って打ち破りましょう。と呼びかけると、大きな拍手と「頑張れ共産党」の声が起きました。

その他消費税増税など国民を苦しめる安倍政治について話しました。

当日のDVDがあります。関心ある方ニュース発行責任者までご連絡ください

切って茹でて炒めたよ

6月29日（日）北部公民館の調理室で初めて「男の料理教室（仮称）」に取り組みました。（参加者7名）

普段は奥さんが料理を作ってくれるという男性の参加が中心でしたが、野菜の切り方や調味料の作り方、炒め方、茹で方など1つ1つ作りながら各自で実践しました。

当日のメニューは、ナス、ピーマン、シメジと豚肉のみそ炒め、ほうれん草のゴマ和え、炒飯、具だくさんの味噌汁の4点でした。

参加者からは、

・「野菜と豚肉の味噌炒めは、野菜を炒めて調味料を入れて炒めるだけだったので、作りやすかった。」

・「ほうれん草は、茹でることはよくするが、ゴマ和えはしてなかったので参考になった」

・「炒飯は、ごはんにまんべんなく卵を絡ませる方法を知ることが出来てよかった」

・「炒飯は自分には少し難しいと感じた。メニューは少なくて良いので、1つのものを　もう少しゆっくりやってほしかった」

「また機会があったら参加したい」「月に1回ぐらいやってほしい」などの感想をいただきました。今後の予定については、皆さんのご意見を伺いながら進めて行きたいと思います。

男の料理教室（仮称）

「見事な包丁の切れ味に　感動!!」

この度、西深井の酒井さんに　我が家の「切れなかった」包丁2本を研いでいただきました。1つは、錆が出ていたもの。もう1つは、トマトなど切ると皮ごと実の中に食い込んでしまうもの。少々の研ぎをしても　すぐに切れない状態で、もう諦めて捨てようかと思っていたものです。しかし、研いでもらったら野菜でも肉でもスーっと切れ、又、大根やキュウリも気持ちよいほどの切れ味!!そしてトマトも信じられないほど薄く切れるのです。まるでテレビの通信販売の宣伝文句のようですが、まさにその通りなので驚きでした。

皆さんも家で「放置している」包丁がありましたら　ぜひ酒井さんに頼んでみてはいかがでしょうか。〝皆さんのお役に立てたら〟と言う酒井さん。無料でしていただけます。

●連絡先

・7152・0059

酒井

調理する事に目覚めたかな?

北海道に兄弟旅行

自衛隊の車列とすれ違い

毎年1回続けてきた兄弟夫婦の旅。今年は北海道の道東へ出かけました。

7月1日に集団的自衛権行使容認の「閣議決定」が強行されたニュースは屈斜路湖近くの宿のテレビで知りました。腹が立つやら、こんな中で旅を続けていることに気がひける思いもありました。

知床半島では海から秘境の断崖を眺めたあと熊よけの高架木道を歩きましたが、船でも陸でも加藤登紀子の歌う「知床旅情」が流れています。

知床峠では晴天に恵まれてはっきりと国後島が遠望できました。展望台には、「北方領土　わが国固有の領土です」の文字が鉄板に刻まれています。周りの観光客の間で、しばし政治談議が交わされます。「広いロシアがなぜ小さな島を返さんのじゃ?」、「歯舞、色丹は北海道の一部じゃんかい」。

そうだ、そうだとうなずきながらレンタカーで走り出すと自衛隊の車列と数回すれ違いました。北海道の道路は、車の通行量が関東周辺と比べて比較にならないほど少ない中での出来事です。北海道の旭川には自衛隊の拠点があります。ここからイラク戦争の時に派遣されました。海外の戦地で血を流すようなことは許さんぞ、とつぶやいているとまたカーキ色の車列とすれ違いです。

自然を満喫しながら「いまの日本」を感じる旅でした。

（江戸川台東　保坂）

知床国立公園にて

オーOチーちゃんの話　第2話

わたしのラパさん
酋長の娘　色は黒いが南洋じゃ美人
赤道直下　マーシャル群島　ヤシの木陰でテクテク踊る
踊れ踊れ　どぶろく飲んで
明日は嬉しい首の祭り
踊れ踊れ　踊らぬものに　誰がお嫁に　行くものか
（昭和五年流行）

第一次大戦でドイツ側七四六万人、それに対する英国側連合国は一一五七万人の死者を出した。重砲、機関銃、戦車、飛行機、潜水艦、毒ガスと大量殺戮を引き起こした。英国側についた日本はドイツと戦い、大企業（特に軍事工業）は大儲け、笑いが止まらなかった。

戦後、南洋群島（マリアナ・パラオ・カロリン・マーシャル）がドイツ領から日本の委任地となった。一九二三年　日本で手廻し蓄音機が売り出され、流行歌が町にも歌われた。但し学生は厳禁。よろしくね。

（続く）

あすなろ川柳

●台風を
好機と国中
ヘリ配置

台風避難と称してオスプレイを沖縄からまず横田へ

●70年に
一度の災害
改憲だ

台風8号は50年に一度の規模というが、70年になる平和憲法破壊は復旧不可能の人災

●凍土壁
凍る見通し
氷解か

東電の数々のウソは虚言癖

前号の2面の旅の記事中「青い山脈」に出てくるのは「雪割り桜」の間違いでした。お詫びして訂正いたします